

1月号

令和7年1月8日
杉並区立荻窪小学校

TEL 3333-6628

<http://www.suginami-school.ed.jp/ogikuboshou/>



題字 学校運営協議会委員 穂苺真里子様

新しい年、新しい荻小を目指して

副校長

令和7年、新しい年を迎えました。学校では、学年末の3学期が始まります。今年度の残りの授業日は、1、2、3、4年生が50日、5、6年生は、51日です。短い期間の中で、一年間の学校生活のまとめをしっかりと行っていきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、学期初めには、校長から荻小として取り組む目標を子どもたちに示してきました。1学期は「あいさつ」2学期は「話を聞く」です。相手も自分も大切にする目標を示し、子どもも大人も一緒に取り組んでいく学校を目指しています。3学期は、次年度に向けての準備も進めていく時期です。挨拶や話の聞き方なども含め、様々な面から今年度の教育活動を見直していきます。その中で2学期から継続して見直しを進めているものをお伝えします。

①荻小スタンダード

荻小スタンダードの内容についてPTAからの意見、学校の意見を合わせた見直しを行い、学校と保護者のつながりとかかわりを大切にしていきます。子どもたちが学びやすく、学校で過ごしやすくなるよう検討していきます。

②いじめ防止基本方針

昨年「杉並区いじめ防止対策推進基本方針」の改訂がありました。この改訂を受け、本校の「学校いじめ防止基本方針」も令和7年度に向けて見直しを進めています。残念ながら、本校のいじめの認知件数は0ではありません。いじめを認知した際には、解消に向けて、いじめ対策委員会で組織として対応しています。また、毎月1回の定期的ないじめ対策委員会で各学年の様子を共有し、必要に応じて即時いじめ対策委員会を行っています。次年度は、更にいじめの予防、防止

のため、年間を通していじめに関する授業、教員研修を実施していきます。

本校には、学校経営方針を支える4つの柱「心を育てる」「一人一人を大切に」「つながりを活かす」「広い目を育てる」があります。日々の教育活動を行うにあたってはこの4つの柱に立ち返り、相手も自分も大事にするという姿勢を示しながら、各学級、学年で指導を行っていきます。子ども同士、子どもと保護者、子どもと地域、子どもと教員、保護者同士、保護者と教員、保護者と地域などたくさんの「かかわり」を広げ、その一つ一つをつなげ荻小を進化させていく一年にしていきます。

人と人との「かかわり」は挨拶から始まります。そして、挨拶には人と人を結び付けていく力があります。子どもたちに伝えてきた目標の一つである「あいさつ」について、保護者の皆様も一緒に取り組んでいただければ幸いです。そして、その「あいさつ」の輪が、本校を取り巻く地域全体への「つながり」につながればと思っています。

私も、さらに多くの保護者の皆様と知り合いになるために「あいさつ」をし、そこで生まれた関係を大切に、本校の学校教育に力を注いでまいります。

保護者、地域の皆様におかれましては、「学校づくりは町づくり」「オール荻窪」の一人として、荻小の未来を創っていくことに力をお貸しください。

今年も、本校の教育活動へのご理解、ご協力よろしくお願いたします。

○令和6年度 校内研究○

研究主任

本校では、「学ぶ子どもを育てる」という研究主題のもと、「対話的な学びの充実」を目指して授業改善を行っています。自分の考えをもち、それをもとに友達や様々な人と協力して課題解決に向かっていく子どもたちの姿を「対話的な学びの充実」とし、子どもたちが自ら課題を設定したり、友達と協働しながら問題を解決したりするにはどう工夫ができるか、様々なことを考えて授業づくりをしています。

今回は、各学年の研究授業での様子をお伝えします。校内研究を通して、普段の子どもたちの学びの充実につながるよう、教員も学びを深め、頑張っています。(1年生は1月に研究授業を行いますので、これまでの学習についてお知らせします。)

1年 国語科「ずっと、ずっと大好きだよ」

1年生では、小学校で「学ぶ」ための素地を作ることを大切にして、授業づくりをしています。まずは「安心」して「楽しく」学べるように、子ども同士で話す、学ぶということを大切にしています。普段の授業では、子どもたち同士で話す時間を取り入れたり、友達と様々なことについて話したりする中で、学びに前向きになれるように声掛けをしています。



2年 生活科「楽しむ・楽しいを探ろう

～作って ためして あそんで～

研究授業では、『もっと』楽しいおもちゃをつくらう」というめあてのもと、自分が目指す楽しさのあるおもちゃになっているかどうかを確かめたり、相談したりするための対話を行いました。

友達の願いを聞いてアドバイスしたり、質問し合ったりして気付いたことや考えたことからおもちゃをさらに改良することができました。



3年 社会科「わたしたちのくらしと商店の仕事」

研究授業では、スーパー見学をして分かった工夫を出し合い、その工夫が何のためにされているのかをグループで話し合いました。対話的な学びを充実させるための手立てとして、付箋を使って考えを整理しながら話し合いを進めました。付箋を使って考えを整理していくことで、スーパーはお客様の願いをかなえるために様々な工夫をしていることに気がきました。友だちと声を掛け合いながら楽しそうに学習に取り組む姿が印象的でした。



4年 社会科「ゆたかな自然を守り生かす小笠原村」

「対話」について、「資料との対話(資料を読み解くこと)」や「個人内の対話(思考すること)」も「対話」と捉え、どの学習においても対話の時間を大切にしています。

社会科の研究授業では、提示する資料や思考の時間の充実を図ることが、対話的な学びの充実につながると考え学習をすすめてきました。

子どもたちは、資料から読み取った事実を基に、そこからどんなことが考えられるか予想していました。個人の対話と友達との対話を行き来しながら、資料を深く読み解こうとする姿が見られました。



5年 道徳「卵焼き」

5年生の子どもたちは「家庭や家族は大切だ。」と理解しています。ですが「なぜ大切なのか」、「大切だからどうするのか」といった「具体的な大切さ」までは、特別に意識しないと考えることはできません。本授業では、家族が相互に信頼関係で結ばれていることを意識的に考えることで、自分の家族への思いを再確認しました。そして、大切な家族のため、自分自身の役割を自覚し、貢献したいという「具体的な大切さ」につなげ、対話を通し考えを広げ、深めていきました。



6年 音楽科「いろいろな音のひびきを味わおう」

6年生は、日頃から家で好きな曲を聞いたり、休み時間に歌ったりと音楽に親しむ子どもが多いです。研究授業では、対話的な学びを充実させる手立ての一つとして、グループで話し合いながら音楽をつくることのできる場を設定しました。グループでどのようなリズムにするのかを確認し合ったり、リズムを把握しながら試したり、練習したりすることで、自分の考えを広げたり、グループの考えを深めたりする子どもたちの姿が見られました。



アートウィーク

12月3日(火)～7日(土)に開催していた各学年の様子をお届けいたします。

1年生

図工の学習が大好きな1年生。初めてのアートウィークの作品を作ることも、他の学年の作品を見ることもとても楽しみにしていました。

共同制作「かみのおさらからうまれたよ」のお魚は玄関に飾られ、お客様をお迎えしました。

平面作品「ぼくのわたしのすてきなおしろ」は、使い方を初めて学んだ絵の具を使い、スポンジスタンプで描き上げました。立体作品は、紙粘土に絵の具を混ぜて鳥の形に

成形し、トレーシングペーパーと和紙の羽をつけた「いっしょにとぼうよ いろとり鳥」を展示しました。



2年生

自分の世界観を大切にしながら制作活動に取り組みました。平面作品「ほねほねランド」では、白い画用紙を手でちぎりながら、色画用紙に貼ることで、オリジナルの恐竜を作りました。立体作品「くしゃくしゃぎゅっ」では、大きな紙袋を絞ったり膨らませたりするだけでなく、お花紙や毛糸などを使ってかざりつけしました。アートウィーク当日は液体粘土に絵の具をまぜて絵を描きました。いつもと違う

感触に驚きながらものびのびと描くことができました。



3年生

一生懸命、作品の制作に取り掛かった3年生。たくさん工夫し、全員が満足できる作品を作ることができました。

共同制作「ひかりの結晶」では光取り紙でステンドグラスを作成しました。上に吊ると、光が透けてとても綺麗でした。

平面作品「お話の世界を広げて～100万回生きたねこ～」ではくしゃくしゃにした紙から、猫を作り、背景を色鮮やかに描きました、

立体作品「荻小べんとう」は紙粘土に絵の具を混ぜて、たくさんのおかずを作りました。どれも本物そっくりで見てるとおなががりすいてきます。



4年生

一つ一つ楽しみながら作品をつくりました。アートウィークに、どれを出展するか迷ってしまうほど、どの作品もお気に入りばかりでした。

学校公開では、造形活動「こびとさんのくにとハウス」をしました。こびとさんを紙粘土で、こびとさんの家を黄ボール紙で作りました。固い黄ボール紙を、水でぬらすと、あら不思議！くにととして好きな形に変形させることができます。

ちぎったり、筒にしたり丸めたり、思い思いの形にして、くにととハウスを完成させていました。アートウィークの素敵な思い出になるといいなと思います♪



5年生

5年生は、「一致団結」という目標を立て、これまで様々な行事を成功させてきました。アートウィークでも、「一致団結」の気持ちを忘れず、作品の制作に取り掛かりました。

共同制作では、階段全体をキャンバスに見立てた階段アートを学級ごとに制作しました。「ハーモニー」というアートウィークのテーマに合うような、個性溢れる素敵な作品を完成させることができました。

個人の作品としては、平面作品「切り紙ステンドグラス」、「重ねる版のハーモニー」から1点、立体作品「つばさを広げて」、「電のこドライブ」から1点を展示しました。



6年生

一つ一つの作品を丁寧に仕上げた6年生。自分の作品だけでなく学年作品の「暗闇美術館」にも力を入れて取り組み、暗闇の中に展示されると、自分たちの作品を見てきれいと言っていました。

学年として「アートウィーク実行委員」の役割を設け、荻小ホールのディスプレイに作品を制作している様子の写真や、インタビュー動画などを編集して作成し、見に来た人により作品を理解してもらおう工夫をしました。同じ一枚の板から全く違う作品が出来上がったように6年生の良さが表現できたアートウィークになりました。



1月の行事予定

授業日数 17日

日	曜	朝	学校行事・児童会活動等	授業時数					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
7	火		冬季休業日終						
8	水	B時程	安全指導 始業式 2時間授業 10:25 下校完了	2	2	2	2	2	2
9	木	人権 メッセージ	3学期給食開始 計測(1・6年) 糸車出前授業(1年) 全学年5時間授業開始	5	5	5	5	5	5
10	金	B時程	計測(2年) 委員会(6校時) 5時間授業 糸車出前授業((1年)	5	5	5	5	6	6
11	土								
12	日								
13	月		成人の日						
14	火	人権 メッセージ	計測(4年) 5時間授業	5	5	5	5	5	5
15	水	B時程	計測(3・5年) 校内書き初め展始 5時間授業 個人面談①	5	5	5	5	5	5
16	木	B時程	5時間授業 個人面談②	5	5	5	5	5	5
17	金	B時程	5時間授業 個人面談③	5	5	5	5	5	5
18	土								
19	日								
20	月	B時程	全学年5時間授業終 個人面談④	5	5	5	5	5	5
21	火	朝学習	理科出前授業(3年) 親子で聞く命のお話(4年親子体験)	5	6	6	6	6	6
22	水	B時程	言葉の子カラ(2年) 校内書き初め展終 個人面談⑤	5	5	5	5	5	5
23	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
24	金	B時程	4時間授業(1-1のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4
25	土								
26	日								
27	月	朝学習		5	5	6	6	6	6
28	火	全校朝会		5	6	6	6	6	6
29	水	B時程		5	5	5	5	5	5
30	木	朝学習		5	5	6	6	6	6
31	金	朝学習		5	5	5	6	6	6

＜主な行事＞

◆校内書き初め展

15日(水)～22日(水)

書写の学習成果を展示いたします。ぜひ、子供たちの素敵な作品をご覧ください。

＜場所＞

各学年オープンスペース

または、各教室前

＜鑑賞可能時間＞

9:00～14:00

※土日は鑑賞できません。

◆個人面談

15日(水)、16日(木)、17日(金)、
20日(月)、22日(水)

個人面談を行います。お子さんの学校での様子や友達との関係等について、短い時間ですが充実したお話ができるようにしたいと思います。ご協力をお願いします。(希望の方のみです。)

◆4年 親子で聞く命のお話

21日(火)

産後教室公認講師をお招きして授業を行います。

各学級1時間の授業を参観できます。

詳細は学年だよりをご確認ください。

◆予告なしの避難訓練を行います。